

その印象派から

世界に誇る吉野石膏コレクション



2019年
4月9日(火) —
5月26日(日)

開館時間: 午前9時30分—午後5時、金曜日(5月3日は除く)は午後8時まで(いずれも入場は開館の30分前まで)
休館日: 毎週月曜日(4月29日、5月6日は開館)、5月7日(火)
4月23日から5月6日は休まず開館

展覧会特設サイト <https://tv-aichi.co.jp/ygc/>

主催: 名古屋市美術館、中日新聞社、日本経済新聞社、テレビ愛知、共同通信社
後援: 愛知県・岐阜県各教育委員会、名古屋市立小中学校PTA協議会
特別協力: 吉野石膏株式会社、公益財団法人吉野石膏美術振興財団
協力: 公益財団法人山形美術館、名古屋市交通局
協賛: あいおいニッセイ同和損保

 **名古屋市美術館**
Nagoya City Art Museum
〒460-0008 名古屋市中区栄2-17-25(芸術と科学の社・白川公園内) TEL 052-212-0001 FAX 052-212-0005
芸術と科学の社 <http://www.art-museum.city.nagoya.jp/>

中日新聞 **NIKKEI** テレビ愛知 

ビエール=オーギュスト・ルノワール 《ジュザンヌ・アダン嬢の肖像》(部分)
1887年 バステル/紙 吉野石膏コレクション

咲きほこる。
名画、名古屋で

ミレー、モネ、ルノワール、
ゴッホ、ピカソ、シャガール…

Impressionism and Beyond
Master Paintings from the Yoshino Gypsum Collection



エドガー・ドガ 《踊り子たち(ピンクと緑)》 1894年 バステル/紙



ジャン・フランソワ・ミレー 《群れを連れ帰る羊飼い》
1860-65年 油彩、バステル、インク、黒コンテ/カンヴァス



クロード・モネ 《ヴェトゥイユ、サン=マルタン島からの眺め》
1880年 油彩/カンヴァス



ポール・セザンヌ 《マルセイユ湾、レスタック近郊のサン=タンリ村を望む》
1877-79年 油彩/カンヴァス



マルク・シャガール 《恋人たちと花束》 1935-36年 油彩、テンペラ/カンヴァス
©ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2018, Chagall® B0386



フィンセント・ファン・ゴッホ 《雪原で薪を運ぶ人々》
1884年 油彩/カンヴァス(板に貼付)

作品はすべて吉野石膏コレクション

日本における西洋美術のコレクションは今から百年ほど前、第一次世界大戦が終了した1910年代の末に始まります。松方幸次郎、大原孫三郎、福島繁太郎といった人々が、日本の西洋美術コレクションの中核となる作品を収集したのがこの時期です。その後も日本人の西洋美術に対する情熱は衰えず、数々の優れたコレクションが形成され、現在に至っています。

石膏建材メーカーとして知られる吉野石膏株式会社は、1970年代から本格的に絵画の収集を開始し、2008年には吉野石膏美術振興財団を設立。コレクションのさらなる拡充と調査研究を推進してきました。そうして形成された西洋近代美術のコレクションは、質量ともに日本における歴代のコレクションに勝るとも劣らぬ内容を誇っています。現在、その多くは創業の地、山形県の山形美術館に寄託され、市民に親しまれています。

本展ではバルビゾン派から印象派を経て、その先のフォーヴィスムやキュビズム、さらにエコール・ド・パリまで、大きく揺れ動く近代美術の歴史を72点の作品によってご紹介します。ミレー、ドガ、ルノワール、ファン・ゴッホ、ピカソなどの出品作はいずれ劣らぬ名作ばかりで、とりわけピサロ、モネ、シャガールの三人は、各作家の様式の変遷を把握できるほどに充実しており、見応え十分です。吉野石膏コレクションが誇る西洋近代美術の傑作の数々をまとめて紹介する展覧会は、中部地方では初めて。知られざる珠玉の名品を、どうぞこの機会にご堪能ください。

2019年
4月9日(火) - 5月26日(日)

世界に誇る
吉野石膏コレクション
印象派から
その先へ

観覧料(税込)	当日	前売・団体
一般	1,300円	1,100円
高大生	900円	700円
中学生以下	無料	

※通常前売券は主なブレイガイド、チケットぴあ(Pコード769-488)、ローソンチケット(Lコード45133)、セブンチケット、イープラス、主なコンビニエンスストア、中日新聞販売店、中日文化センターなどでお求めいただけます。(販売は4月8日(月)まで)※身体等に障害のある方は、手帳の提示により本人と付添者2名まで当日料金の半額でご覧いただけます。※名古屋市交通局発行の「一日乗車券」「ドニチエコきっぷ」を当日利用して来館された方は100円割引。※「名古屋市美術館常設展定期観覧券」の提示で団体料金も適用されます。※いずれも他の割引との併用はできません。※「印象派からその先へ」展の観覧券で常設展もご覧いただけます。

開幕から4月30日(火)まで
ご観覧いただけるお得な前売チケットです。
販売期間: 2月28日(木)まで
販売場所: チケットぴあ(Pコード769-487)、
ローソンチケット(Lコード45133)、セブンチケット、
イープラス、主なコンビニエンスストア、中日新聞販売店
※本券は4月9日(火)~4月30日(火)の開館日のみ有効です。5月1日(水)以降に来館された場合は、前売券料金(1,100円)との差額100円を会場チケット販売窓口でお支払いいただくことによりご購入いただけます。

早めの来館がお得!
平成限定割引チケット
1,000円(税込)
※券種は一般のみ

関連イベント

- ① 記念講演会** 4月14日(日)14:00-15:30
演題:「吉野石膏コレクションの見どころ、教えます」
講師: 佐藤菜々子(公益財団法人吉野石膏美術振興財団学芸員)
- ② 作品解説会** 4月27日(土)、5月18日(土)14:00-15:30
講師: 森本陽香(名古屋市美術館学芸員)
- ③ アートーク(仮題)** 4月21日(日)14:30-15:30
講師: 山田五郎(編集者・評論家)
会場: 中区役所ホール
※事前申込制。詳細は名古屋市美術館公式サイトに掲載します。



- ④ 閉館後の展示室内での特別鑑賞会(人数限定・有料)**
4月27日(土) 学芸員による解説
5月18日(土) 学芸員による解説+コンサート
各日17:00集合 事前申込制
※詳細は名古屋市美術館公式サイトに掲載します。



ご来場は公共交通機関をご利用ください。
●地下鉄東山線・鶴舞線「伏見駅」下車、5番出口から南へ徒歩8分
●地下鉄鶴舞線「大須観音駅」下車、2番出口から北へ徒歩7分
●地下鉄名城線「矢場町駅」下車、4番出口から西へ徒歩10分

名古屋市美術館
Nagoya City Art Museum
〒460-0008 名古屋市中区栄2-17-25(芸術と科学の社・白川公園内) TEL 052-212-0001 FAX 052-212-0005
http://www.art-museum.city.nagoya.jp/